

令和7年度 第5回学校運営協議会・学校関係者評価委員会【報告】

令和8年2月13日(金)、第5回学校運営協議会・学校関係者評価委員会を開催しました。

委員の皆様4名と学校側3名の計7名が出席し、児童の学びの様子、今後の学校行事の在り方、危機管理マニュアルの見直し等について意見交換や協議を行いました。

【児童の学びの様子】

まず、各学年の授業参観を行いました。特に、収穫後のわらを用いてリースを製作する4・5年生の授業では、米づくりで得た体験を次の学習へつなげ、身近な材料を生かして学びを深める姿が見られました。



【次年度の学校運営体制と校務の再編】

教員定数の削減が見込まれ、次年度以降の見通しが示されました。管理職が教務機能を含む校務を担うことを確認しました。

【学校行事の見直し(運動会・全校音楽発表会等)】

社会情勢の変化を踏まえ、運動会や全校音楽発表会等の学校行事について、平日開催への移行や実施形態の見直しを検討しました。日程設定、準備・運営の在り方、外部協力等を含めた再設計が必要であるとの意見が出されました。



地域・保護者の協力については、「何をどの場面で、誰に依頼するか」を学校側が具体的に示すことや、音楽活動の地域発表は可能な範囲で継続し、学校と地域の接点を維持する方向で検討します。

【危機管理マニュアルの見直し(2月改訂内容)】

これまでの話し合いを踏まえて、危機管理マニュアルの見直しを行いました。主な内容として、①救急対応では判断に迷う際の相談先(#8000等)の明確化と緊急時の移手段の整理、②水害・津波時は地理的リスクを踏まえた校舎内の垂直避難を優先、③緊急連絡は電話連絡網を廃止して一斉メール配信への一元化を図りました。さらに、④不審者対応の合言葉の見直し及び外獣出没時対応表の新設等を確認しました。

【協議のまとめ】

入学者がいらないため、学校を取り巻く環境が厳しさを増しています。学校は地域への情報の見える化を徹底するとともに、具体的支援を依頼できる仕組みを整え、持続可能なコミュニティ・スクールの実現を目指すことを確認しました。

【次回の予定】

次回(次年度第1回)の開催日程・内容につきましては、あらためて通知します。